The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	当センターからサービスしているデータベースについて
Author(s)	大阪大学大型計算機センターデータベース小委員会
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1987, 64, p. 41-68
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65723
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

当センターからサービスしている データベースについて

大阪大学大型計算機センターデータベース小委員会　編

1. はじめに

大阪大学大型計算機センターでは、全国の研究者の方々のデータベースの開発に協力し、開発されたデータベースのサービスを行なってきました。個々のデータベースについての内容や詳しい利用法などについては、本センター・ニュースでも紹介されてきました。しかし、本センターでサービスしているデータベースの全体をまとめて紹介する機会はありませんでした。

昨年、開発者の方々の協力のもとに、本センターでサービスしているデータベースの概要を紹介するパンフレットを作成しました。これは、B4の少し厚めの用紙（両面に印刷してある）を真ん中で折った形のもので、データベース全体の案内に関するものと各データベースごとにデータベースの概要および簡単な利用法をまとめたものを作成しました。このパンフレットを昨年の4月頃から配布してきましたが、印刷部数や発送の手間などの都合で、本センターの全ユーザの方々に配布するという訳にはいきませんでした。そこで、このパンフレットの内容をもとにして、センター・ニュースの記事を編集しました。このようにしますと、全ユーザの方々の手許にお届けできるだけでなく、本センターでサービスしている全データベースの概要をまとめたものとしても利用できるようになります。

本記事の別刷りは一定部数確保しております。まとまった部数が必要な方は、本センターの共同利用掛までお問い合わせ下さい。また、この記事のもとになったパンフレットを必要な方も、共同利用掛までお問い合わせ下さい。さらに、ほぼ本記事と同じような形式で、全国の大型計算機センターでサービスしているデータベースについてまとめた「全国共同利用大型計算機センター　オンライン・データベース利用ガイド（第6版）」（昭和61年11月発行）も共同利用掛にあります。必要な方は、お問い合わせ下さい。

2. サービスしているデータベース

データベース名	内　　容	データ量	利用形態	利用説明書	問い合わせ先
PROTEIN-DB たんぱく質 データベース	たんぱく質の結晶構造データの検索と図形表示	347件 50MB	TSS バッチ	阪大・大型計算機センター・ニュース Vol.15,No.4(1986)	大阪大学・蛋白質研究所 結晶解析センター (06) 877-9750 (06) 877-5111　内線 3912
GEODAS 地球学 データベース	地質および地震のデータの検索と図形表示	145000件 38MB	TSS バッチ	阪大・大型計算機センター・ニュース Vol. 11, No.3 (1981)	大阪市立大学・理学部 地学教室，弘原海　清 (06) 605-2593
CONSULTANT 計算機利用相談 データベース	Fortranのデバッグ等のプログラム相談	1MB	TSS	阪大・大型計算機センター・ニュース Vol.11, No.2(1981)	名古屋市立大学・計算機センター，磯本　征雄 (052) 871-1334　内線 209
NQR 核四極共鳴 スペクトル データベース	核四極スペクトルに関する書誌的情報と数値データ	7734件 6.7MB	TSS バッチ	阪大・大型計算機センター・ニュース Vol.11, No.4(1982)	大阪大学・理学部 化学教室，千原　秀昭 (06) 844-1151　内線 4210
JSR 日本科学映像 データベース	日本国内にある学術研究・教育のための科学映画の2次情報	11100件 130MB	TSS	準　備　中	東海大学・工学部 通信工学科，菊川　健 (0463) 58-1211 内線 4052
SPEECH-DB 音声データベース	音声認識の研究のための音声データ	46MB	TSS	阪大・大型計算機センター・ニュース Vol.15, No.2(1985)	大阪大学・産業科学研究所 溝口理一郎 (06) 877-5111　内線 3566
YARUKI や　る　気 データベース	学生の学習についての「やる気」に関するデータ	30件 17KB	TSS	阪大・大型計算機センター・ニュース Vol.15, No.2(1985)	大阪電気通信大学・工学部 経営工学科，石桁　正士 (0720) 24-1131　内線 364
BIOSIS 生物分野文献 データベース	生物学，生物医学分野の学術文献情報	40万件/年 600 MB/年 1982～1987 サービス中 1980～1981 サービス予定	TSS	阪大・大型計算機センター・ニュース Vol.15, No.3(1985)	阪大・大型計算機センター 研究開発部，多喜　正城 (06) 877-5111　内線 2837

《利用資格》

大阪大学 大型計算機センターの利用者番号をお持ちでない方は，利用申請をして頂く必要があります。国公私立大学および高等専門学校で教育・研究に従事しておられる方なら，どなたでも利用できます。

《データベースの開発申請およびサービス申請》

大阪大学 大型計算機センターでは，学術情報データベースの共同形成，共同利用をめざしたデータベースの開発に対する支援として，開発申請をして頂くことにより計算機使用料の一定額を免除しています。これから，共同利用のデータベースを作成しようという方は，この制度を御利用下さい。

また，開発されたデータベースは，サービス申請をして頂くことにより，大阪大学 大型計算機センターの全ユーザが利用できるようになります。また，N-1 ネットワークを介して全国の大型計算機センターからも使用できるようになります。

《問い合わせ先》

問い合わせは，内容に応じて大阪大学 大型計算機センターの各掛または問い合わせ先までお願い致します。

567 茨木市美穂ヶ丘 5－1
大阪大学 大型計算機センター
電話 (06) 877-5111

① 計算機利用申請，利用手引きの請求先，データベースの開発申請・サービス申請
共同利用掛　　内線 2817

② データベースの利用法
研究開発部　　内線 2836
システム管理掛　　内線 2823

③ データベースの内容
データベース一覧中の問い合わせ先

3．オンライン・サービスの利用法

1. 会話の開始

- 端末機とモデムの電源を入れる。電話を使用するときは，所定の電話番号（「TSSの手引き」を参照）に電話し，音響カプラに受話器を固定する。
- CTRLキーとAキーを同時に押し（PF1というキー押す端末機もある），以下のように会話を進める。なお，下線を引いた部分がユーザの入力である。

```
                          日付        時刻     使用チャネル
                           |           |           |
HANDAI TSS(R1.0) ON  04/01/86 AT 11:30:25 CHANNEL 1371

USER ID -利用者番号;支払コード⏎  ←――――― 登録すると，与えられる番号
PASSWORD--                                  ⏎は「送信」キーまたは「return」キー
パスワード⏎                  ←――――――― パスワードは判読できなくなる
<<<<<  .... 5000 YEN RESOURCES USED ( AVAILABLE ... 25000 YEN )  >>>>>
<<<<<  ..... 100 LLINKS FILE SPACE USED                           >>>>>

**9:30:00**TSS WILL SIGN OFF AT 22:00  ←――― TSSの開始時刻と終了時刻

SYSTEM ?データベース名⏎
        :
        :
(データベースを使用する)
        :
        :
```

2. 会話の終了

```
SYSTEM ?BYE⏎    CPU使用時間   接続時間
                     |          |
**USED RESOURCE.....CPU=10SEC CON=10MIN T-ID=#Z
**COST:  ¥15
         |
      今回の使用に要した費用
```

- 電話を使用しているときは，受話器をもとに戻し，端末機とモデムの電源を切る。

センター発行の「TSSの手引」を参照

4．データベースの利用例

たんぱく質データベース

PROTEIN－DB

たんぱく質の立体構造を検索し，さまざまに図形表示

タンパク質・酵素・核酸の立体構造データを検索し図示するシステムです。簡単なコマンドの組み合わせで，各種のデータ検索・出力，そして構造の多様な図形表示が可能です。原データは，米国ブルックヘブン国立研究所で蓄積されているプロテインデータバンクであり，主としてX線解析で決定された生体高分子物質の立体構造に関するデータです。

《問い合わせ先》

① 計算機利用申請，利用手引きの請求先

567 茨木市美穂ヶ丘5－1
大阪大学 大型計算機センター 共同利用掛
電話 (06) 877-5111 内線 2817

② データベースの利用法

567 茨木市美穂ヶ丘5－1
大阪大学 大型計算機センター 研究開発部 または システム管理掛
電話 (06) 877-5111 内線 2836 または 2823

③ データベースの内容

565 吹田市山田丘3－2
大阪大学 蛋白質研究所 結晶解析研究センター
電話 (06)877-9750 (直通) または (06)877-5111 内線 3911, 3912

① キーワード検索の例

```
SYSTEM ?PROT                                  ←── データベースの呼び出し（PROTEIN-DB）

*****************************
*** WELCOME TO PROTEIN-DB ***
*****************************

MODULE ?
*SEAR
*** SEARCH ***                                ←── 単語による検索

MODE ?
*RETR                                         ←── 検索モード（RETRIEVE）
* EXECUTING RETRIEVE.

TYPE IN OPERAND.
*R PANCREATIC                                 ←── REMARKにPANCREATICとあるもの

*** PANCREATIC                                ***
DOCUMENT   * 28 ELEMENTS.                      } 28件　これを集合1とする
SET NUMBER *  1

END OF OUTPUT.

TYPE IN OPERAND.
*A R.HUBER                                    ←── AUTHORにR. HUBERとあるもの

*** R.HUBER                                   ***
DOCUMENT   * 27 ELEMENTS.                      } 27件　これを集合2とする
SET NUMBER *  2

END OF OUTPUT.

TYPE IN OPERAND.
*AND 1 2                                      ←── 集合1と2との積集合をつくる

*** RETRIEVED SET NO. 1 (AND) RETRIEVED SET NO. 2  ***
DOCUMENT   * 11 ELEMENTS.                      } 積集合は11件　これを集合3とする
SET NUMBER *  3

END OF OUTPUT.

TYPE IN SET NUMBER.
*                                             ←── キャリッジリターン

MODE ?                                        ←── プリントモード（端末出力）
*PRINT

TYPE IN SET NUMBER.
*3                                            ←── プリントする集合番号
 SET NO. 3
** RETRIEVED SET NO. 1 (AND) RETRIEVED SET NO. 2  ***
2PTN
1TPO
3PTN
1TPP
4PTI
5PTI
2PTC
1TPA
2TGP
3TPI
2TPI
END OF OUTPUT.

TYPE IN SET NUMBER.
*

MODE ?
*.

END OF SEARCH.


MODULE ?
*BIBL                                         ←── 書誌情報の出力（BIBLIO）

*** BIBLIO ***

MODE (PRINT, SAVE, SEARCH, OR END)?
*PRINT                                        ←── 端末出力

TYPE IN OPERAND.                              ←── 2PTNについての全てのデータ
*2PTN ALL ALL
* EXECUTING PRINT.
HEADER  0 HYDROLASE (SERINE PROTEINASE) 26-OCT-81 2PTN                2PTN
COMPND  0 TRYPSIN (ORTHORHOMBIC, 2.4 M AMMONIUM SULFATE) 2 (          2PTN
COMPND  0 E.C.3.4.21. 4)                                              2PTN
SOURCE  0 BOVINE (BOS TAURUS) PANCREAS                                2PTN
AUTHOR  0 J.WALTER, W.STEIGEMANN, T.P.SINGH, H.BARTUNIK, W.BODE,      2PTN
AUTHOR  0 R.HUBER                                                     2PTN
JRNL    0 AUTH J.WALTER, W.STEIGEMANN, T.P.SINGH, H.BARTUNIK,         2PTN
```

② たんぱく質結晶構造の図示の実例

1LZM(Lysozyme)の骨格原子座標を抽出し図示する(図1)

```
SYSTEM ?PROT

*****************************
*** WELCOME TO PROTEIN-DB ***
*****************************

MODULE ?
*STRU

*** STRUCTURE ***
MODE ?
*NALL 1LZM                    ←―― 全原子の座標の準備

1LZM WAS FOUND
     THE NAME OF 1LZM IS
          LYSOZYME (E.C.3.2.1. 17)

DISPLAY THE SEQUENCE OF 1LZM ?  (YES OR NO)
*Z                            ←―― アミノ酸鎖の出力はせず

MAKING JOIN DATA

TOTAL  1309 ATOMS

DATA SAVED FILE'08'

*** STRUCTURE ***
MODE ?
*NPLO                         ←―― 作図モード

COMMAND ? FORM                                  ←―― FORM(分子の表示)セクション
WIRE    PLEAT   SMOOTH  RIBBON  BALL   SPACE   ERASE   RETURN
FORM    >> WIRE                                 ←―― WIREモデルの表示
ALL     B.B     CA      MENU                    ←―― 主鎖原子の表示
WIRE    >> B.B
```

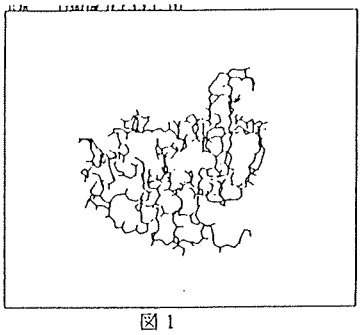


図1

C^cを滑らかに結んだRIBBONモデル(図2)

```
FORM    >> RIBBON ←―― リボンモデルの表示
```

図2をX軸の回りに90°回転させます。(図3)

```
COMMAND ? ROTA    ←―― ROTATE(回転)セクション
VALUE   CLEAR   RETURN
ROTATE  >> VALUE X 90 ←―― 数値による回転の指定
                          X軸回りに90°
```

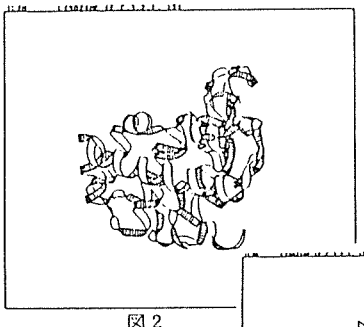


図2

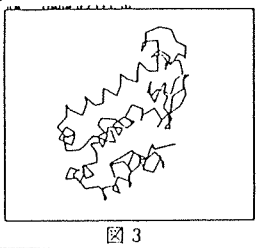


図3

グルカゴンのスペースフィリングモデルを描きます(図4)

```
SYSTEM ?PROT

*****************************
*** WELCOME TO PROTEIN-DB ***
*****************************

MODULE ?
*STRU

*** STRUCTURE ***
MODE ?
*NALL 1GCN

FILE '08' IS ALREADY DEFINED
REDEFINE ? (YES OR NO)
*Y

1GCN WAS FOUND
     THE NAME OF 1GCN IS
          GLUCAGON (PH 6-PH 7 FORM)

DISPLAY THE SEQUENCE OF 1GCN ?  (YES OR NO)
*

MAKING JOIN DATA

TOTAL   246 ATOMS

DATA SAVED FILE'08'

*** STRUCTURE ***
MODE ?
*NPLO

COMMAND ? FORM
FORM    >> SPACE    ←―― スペースフィリングモデルの表示
SPACE   >> PAINT    ←―― 原子の周辺部分を点で塗りつぶす
```

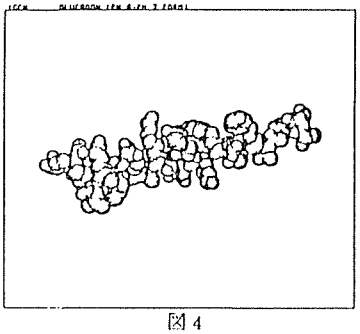


図4

地球学データベース

GEODAS

地学と地学データを検索し，図形表示

コンピュータを使って各種の地図を作成するコンピュータ・マッピングが広い分野で注目を集めている。地球学データベースGEODASは大阪大学大型計算機センターのDBMS/INQを用いて開発している地球学関連のデータベースである。ここでは，利用者はデータベース化された地図データを検索し，希望する範囲，大きさ，投影法で自動的に地図を描いたり，また，この地図の上に各種統計や地理データ，地震データを同一の手法でプロットしたりすることができる。GEODASは幾種類ものデータファイルから構成されているが，大きくは地図と地学データの2つの系統に区分される。

《問い合わせ先》

① 計算機利用申請，利用手引きの請求先

567 茨木市美穂ヶ丘5－1
大阪大学 大型計算機センター 共同利用掛
電話 (06) 877-5111 内線 2817

② データベースの利用法

567 茨木市美穂ヶ丘5－1
大阪大学 大型計算機センター 研究開発部 または システム管理掛
電話 (06) 877-5111 内線 2836 または 2823

③ データベースの内容

558 大阪市住吉区杉本3－3－138
大阪市立大学 理学部 地学教室
弘海原 清
電話 (06) 605-2593

○簡易的利用法

GEODAS側で準備している初期値（近畿地方の地図と地震データ）に従う使い方である。

```
SYSTEM ?GEODAS TPMAP
!! WELCOM TO GEODAS AND TPMAP !!

PROGRAM "TPMAP" HAS SIX OPTIONAL SECTIONS;
---------------------------------------------
I   *1* GENERAL DESCRIPTION SECTION          I
I                                            I
I   *2* I/O DESCRIPTION SECTION              I
I                                            I
I   *3* A MAP FRAME SETTING SECTION          I
I                                            I
I   *4* DATA REDUCTION SECTION               I
I                                            I
I   *5* MAP PROJECTION METHOD SECTION        I
I                                            I
I   *6* FLAT AND STEREO MAPPING SECTION      I
---------------------------------------------
YOU CAN CHOOSE ANY SECTION BY Q/A WITH NUMBER(N) <--- *N*.


**1.1* GENERAL DESCRIPTION ***
? DO THIS(= ),SKIP-NEXT(=N),-BACK(=0/-N), OR MAPPING(=9)
=9

? OK(= ); STOP(=0); OR RETRY...
----------------------------------
BACK TO GENE.(=1),I/O(=2),FRAME(=3)
REDUCT(=4),MAP(=5),STEREO(=6) ?
=2
```

（次ページの図を表示）

```
? OK(= ); STOP(=0); OR RETRY...
----------------------------------
BACK TO GENE.(=1),I/O(=2),FRAME(=3)
REDUCT(=4),MAP(=5),STEREO(=6) ?
=0

MODULE ?
=2

GOOD-BYE

SYSTEM ?
```

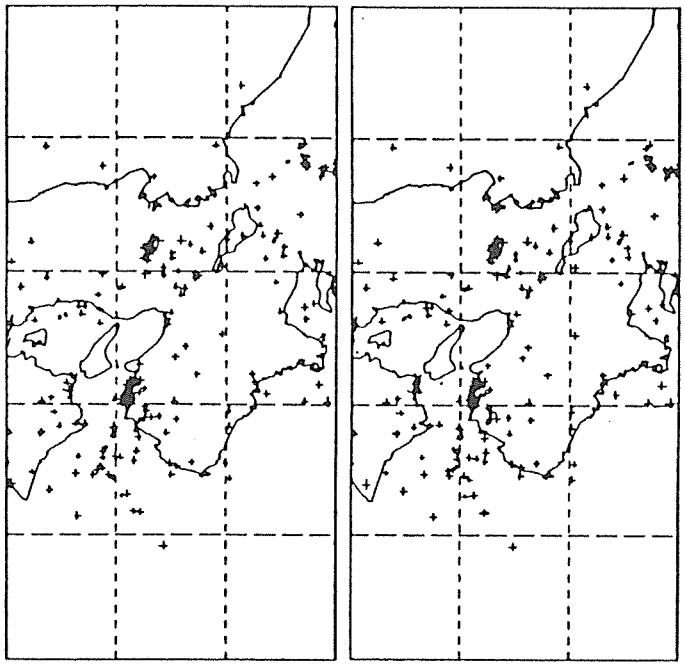


図　簡易利用法による近畿地震々源図（ステレオ地図）
（1965～1970年，マグニチュード3以上）

○実際の利用法

簡易的利用法でGEODASの全体の機能をまず参照した後，利用者は6つのオプションにQ/A法で答えることによって，各々の希望に沿ったデータの利用を実現することができる。各オプションの機能は次の通りである。

オプション1.　一般記述セクション

オプション2.　入出力記述セクション

オプション3.　地図の範囲設定セクション

オプション4.　データ圧縮条件設定セクション

オプション5.　地図投影法設定セクション

オプション6.　地図表現設定セクション

各々のオプションの具体的な入力方法については，大阪大学大型計算機センター・ニュース（Vol.11, No.3）1981を参照していただきたい。

計算機利用相談データベース

CONSULTANT

Fortranのデバッグに困っているあなたに

計算機利用は、初心者にとっては難しいことです。このデータベースには、計算機利用に必要な情報が格納されています。計算機利用時に困ったことがあれば御利用下さい。

《問い合わせ先》

① 計算機利用申請，利用手引きの請求先

567 茨木市美穂ヶ丘 5－1
大阪大学 大型計算機センター 共同利用掛
電話 (06) 877-5111 内線 2817

② データベースの利用法

567 茨木市美穂ヶ丘 5－1
大阪大学 大型計算機センター 研究開発部 または システム管理掛
電話 (06) 877-5111 内線 2836 または 2823

③ データベースの内容

467 名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑 1
名古屋市立大学 計算センター
磯本 征雄
電話 (052) 871-1334 内線 209

本データベースには，FORTRANデバッグに関する経験的知識が格納されています。データベース利用は，コマンド“FADVISOR”をビルドモードに入力すればシステムが呼び出され，以後は画面単位で「項目の選択」「○×の応答」を行えば，あなたへのデバッグの助言が与えられます。

I. 利用例

```
*  FADVISOR        ←── フォートラン・デバッグ・アドバイザの呼び出し
```

⇩ 開始画面へ

```
*****************************************************************************
*                                                                           *
*   #######      ###    #####    ##   ##  ####   #####    #####   ######    *
*   ##          ## ##   ##  ##   ##   ##   ##   ##   ##   ##   ##  ##   ##   *
*   ##         ##   ##  ##   ##  ##   ##   ##   ##        ##   ##  ##   ##   *
*   #####  ##  #######  ##   ##  ##   ##   ##    #####    ##   ##  ######    *
*   ##         ##   ##  ##   ##  ##   ##   ##        ##   ##   ##  ## ##     *
*   ##         ##   ##  ##  ##    ## ##    ##   ##   ##   ##   ##  ##  ##    *
*   ##         ##   ##  #####      ###    ####   #####    #####   ##   ##   *
*                                                                           *
*   ------------------------------------------------------------------      *
*       F O R T R A N - A D V I S O R   を   始めます。                      *
*   ------------------------------------------------------------------      *
*****************************************************************************

--- A D V I S O Rへの御案内                    --- (CODESTRT) 02/06/86- 9:54:21

  本システムは、F O R T R A N 7 7プログラムのT S Sモードでの実
行中の誤りに対するデバッグの手順について助言します。 実際にデバ
ッグするのはあなたです。 がんばってください。

  1．デバッグの助言を受けますか？
  2．助言をやめますか？

上記の中から当てはまると思われるものの番号を選んでください。   [1]
-----------------------------------------------------------------------------
```

⇩ 次の選択画面へ移る　（入力後送信キーを押す）

```
--- A D V I S O Rの助言開始                    --- (STRT    ) 02/06/86- 9:55: 0

  デバッグの助言を開始します。
あなたのプログラムが正しく稼働しない状況は、次の何番目に相当しま
すか。

  1．エラーメッセージらしい文章の出力がある。
  2．R U Nコマンド入力直後に処理が中断された。
  3．プログラム実行中に異常動作が起こり、ジョブ処理を停止した。
     （B R E A Kキーによる強制的な処理中断も含む）
  4．プログラムは完了したが、処理結果は正しくない。
  5．R U Nコマンド入力後、あるいはR E A D文によるデータ入力後に
     、B R E A Kキーを押すまで長時間応答が返って来ない。

上記の中から当てはまると思われるものの番号を選んでください。   [4]
-----------------------------------------------------------------------------
```

⇩ 次の画面へ

何段階かの選択画面を経過して，次の問診画面に移る

```
--- 行送りの乱れ                                  --- (*112     ) 02/06/86- 9:57:58

  下記の質問に答えてください。

  [O]  1．改行、改頁が不規則におこる。  しかも左側第一文字が印字されて
           いない。
  [X]  2．出力行の途中で改行し、残りのデータが次の行の左端から印字され
           ている。
  [X]  3．一組のデータ出力に対し、一行分の途中で終わる。
  [O]  4．２行以上に分けて出力されるはずのデータ群が、一行に出力されて
           いる。

  └─O（オー），X（エックス）は利用者が記入（記入後，送信キーを押す）。

    答え方     当てはまるーーー（O）   どちらかわからないーーー（ ）
               当てはまらないー（X）   質問の意味がわからないー（？）
-------------------------------------------------------------------------------
```

⇩ 問診の結果に対する診断・助言画面へ移る

```
--- 正常終了、ただし結果は正しくない              --- (*000     ) 02/06/86- 9:52:35

    エラーメッセージの出力もなく、処理がすべて正しく進んでいるよう
  に見えるにもかかわらず、結果が正しくない場合の状況として次の症状
  が考えられます。

  1．数値や文字列の印字の書式（体裁）が正しくない。
  2．印字された数値データの値が正しくない。
  3．文字データ（数値データ以外）の印字内容が正しくない。
  4．システムからのメッセージの出力が途中にある。

  上記の中から当てはまると思われるものの番号を選んでください。      [1]
-------------------------------------------------------------------------------
```

⇩ 助言画面に移る

```
--- 出力並びと編集記述子の不対応                  --- (F125     ) 02/06/86- 9:59:48

  あなたのエラーは下記の原因と思われます。

  [O]    プログラムを何度か修正しているうちに、ＷＲＩＴＥ文の出力並びと
       ＦＯＲＭＡＴ文の編集記述子の対応が崩れたとが考えられます。
  [O]    ＷＲＩＴＥ文とＦＯＲＭＡＴ文の正しい対応、出力並びと編集記述子
       の正しい対応を確認してください。  間違っておれば、これを訂正して
       ください。


  上記の説明の内、当てはまると思われるものの横には（Ｏ）印を、当てはま
  らないと思われるものの横には（Ｘ）印をつけてください。
-------------------------------------------------------------------------------
```

II. 利用上の注意事項

① 一度会話の進んだ画面に対する前進はＩキー，後退はIIキーでできます。

② 助言の終了は，最後の助言画面で全文が○になった時です。

核四極共鳴スペクトル
データベース

N Q R

結晶の同定・物性・化学結合の研究者に

核四極共鳴スペクトルは，結晶の同定，分析，化学結合の研究，量子化学計算の検証，結晶の物性研究などの有力な補助手段として役立ちます。このデータベースは 1982 年までの数値を網羅しています。

《問い合わせ先》

① 計算機利用申請，利用手引きの請求先

567 茨木市美穂ヶ丘 5－1
大阪大学 大型計算機センター 共同利用掛
電話 (06) 877-5111 内線 2817

② データベースの利用法

567 茨木市美穂ヶ丘 5－1
大阪大学 大型計算機センター 研究開発部 または システム管理掛
電話 (06) 877-5111 内線 2836 または 2823

③ データベースの内容

560 豊中市待兼山町 1－1
大阪大学 理学部 化学教室
千原 秀昭
電話 (06) 844-1151 内線 4210

核四極共鳴スペクトルは，結晶の同定，物性研究，化学結合研究に有力なデータです。1987年1月現在7734件のデータがデータベースにはいっています。はじめて使う人を想定して簡単な使い方を説明します。

阪大センターへ接続した後，NQRデータベースを呼ぶには

```
SYSTEM ?NQR

*** Welcome to NQR Database ***
This is Version 3, released on September 8, 1983
    Data updated on January 30, 1986
*** Copyright Japan Assocn. for International Chem. Info. (JAICI) ****

Type in ?, NEWS, EXAMPLE, or SEARCH after MODULE?

MODULE? Type in ?, NEWS, EXAM, SEAR, or END.
=SEAR

=== SEARCH STARTED ===
MODE?; TYPE IN ? FOR HELP.
```

によって検索開始の準備ができる。アンダーラインは端末機から入力する部分を示してある。まず化学物質の分子式からデータを探してみよう。分子式は Hill 方式で書く。つまり，炭素Cと水素Hの両方を含んでいる場合は，次のようにCとHの数をまず書き，あとはアルファベット順に並べる。C，Hがない場合には全部の元素をアルファベット順に並べる。原子数が1のときは1をつける。

```
MODE?; TYPE IN ? FOR HELP.
=FORM C2H5NIO2
FORM=C2H5NIO2
          SET NO:    1              3 RECORDS
```

化学物質の名称から探すときの例を次に示す。

```
MODE?; TYPE IN ? FOR HELP.
=NAME P-DICHLOROBENZENE
NAME=P-DICHLOROBENZENE
          SET NO:    2              3 RECORDS
```

論理和（OR）や論理積（AND）を使って次のように組合わせてもよい。

```
MODE?; TYPE IN ? FOR HELP.
=NAME HYDROGEN CHLORIDE OR HYDROCHLORIC ACID
NAME=HYDROGEN CHLORIDE OR HYDROCHLORIC ACID
          SET NO:    3              2 RECORDS
```

完全な名称でなく，名称の部分から探索するには，前方一致または中間一致の手法が使える。

$ 記号は，$のところにどんな文字（数字）がきてもよいという命令である。

```
MODE?; TYPE IN ? FOR HELP.
=NAME $IODO$ AND $BENZ$ AND $METHYL$
NAME=$IODO$ AND $BENZ$ AND $METHYL$
          SET NO:    2             14 RECORDS
```

キーワード（１語）やキーフレーズ（２語以上）からの検索もできる。

```
MODE?; TYPE IN ? FOR HELP.
=KEYP PHASE TRANSITION OR POLYMORPHISM
          SET NO:    3            353 RECORDS
```

NQR共鳴周波数の数値から検索するには，まず原子核の質量数，次に周波数の範囲をMHz 単位で指定する。ここでは＄記号は使えない。

```
MODE?; TYPE IN ? FOR HELP.
=FREQ 127 60-80
FREQ=127 60-80
          SET NO:    4             10 RECORDS
```

もし原子核の種類は何でもよいときは，次の例のように質量数を指定しなくてもよい。

```
MODE?; TYPE IN ? FOR HELP.
=FREQ 34.2-35.5
FREQ=34.2-35.5
          SET NO:    1            857 RECORDS
```

検索結果を表示させるには，DISPコマンドを使う。

DISP［回答セット番号］［表示形式］［表示範囲］を次の例のように入力する。

```
MODE?; TYPE IN ? FOR HELP.
=DISP 2 C 1-2

DISP  2 C    1-   2
--------------------
(   1)  RECORD NUMBER; 951
FORM  3381-47-3 C13H10I1N1
NAME BENZENAMINE, 4-IODO-N-(PHENYLMETHYLENE)-;
AUTH ANDREEVA A I; GARTMAN G A; OSOKIN D YA; SAFIN I A;                  1
JRNL ZH OBSHCH KHIM; 50; 6; 1980; 1372; 1376;                            1
 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .
        NUCL.
 METHOD MASS TEMP/K   REF                  FREQ/MHZ
          14  77.      1  3.5771   3.5197
--------------------
(   2)  RECORD NUMBER;1357
FORM 58592-86-2 C9H13CL1N1.(1/2)CD1I4
NAME N,N,N-TRIMETHYL-(4-CHLOROPHENYL-)AMMONIUM CADMIUM TETRAIODIDE; BE
NAME NZENAMINIUM, 4-CHLORO-N,N,N-TRIMETHYL-, (T-4)-TETRAIODOCADMATE(2-
NAME ) (2:1);
AUTH NOWAK N; PIES W; WEISS A;                                           1
JRNL PROC INT SYMP NUCL QUADRUPOLE RESON SPECTROSC 2ND; ; ; 197          1
JRNL 5; 165; 177;                                                        1
 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .
        NUCL.
 METHOD MASS TEMP/K   REF                  FREQ/MHZ
   X      35  77.      1  35.199   35.141
```

この検索システムでは，MODULE，MODE，検索語の順にレベルが深くなっている。なにも入力せずにRETURNキーを打てばひとつ上のレベルにもどる。

さらに詳しい検索方法については，センターニュースVol. 13, No. 2（1983）をご覧ください。
抜き刷りをご希望の方は阪大理学部 千原秀昭まで。

日本科学映像データベース

ＪＳＲ

科学映画の教材をお探しの先生方に

本データベースには，日本国内に所蔵されている教育・学術研究用のビデオや映画が登録されています。公衆回線を介してＴＳＳで容易に利用できます。また検索コマンドは，簡易な形式であり，簡単に使えます。

《問い合わせ先》

① 計算機利用申請，利用手引きの請求先

567　茨木市美穂ヶ丘５－１
大阪大学　大型計算機センター　共同利用掛
電話　(06) 877-5111　内線 2817

② データベースの利用法

567　茨木市美穂ヶ丘５－１
大阪大学　大型計算機センター　研究開発部　または　システム管理掛
電話　(06) 877-5111　内線 2836　または　2823

③ データベースの内容

259-12　神奈川県平塚市北金目 1117
東海大学　工学部　通信工学科
菊　川　・　健
電話　(0463) 58-1211　内線 4052

日本科学映像データベースＪＳＲには，日本国内にある科学映画，教育映画，ＶＴＲなどの内容に関する情報が納められています。研究用あるいは教育用教材として使える内容です。製作者や企画者の名前，住所も分かりますので，具体的な入手方法を知るうえでも役に立ちます。

I. 利用例

```
SYSTEM ? JSR

**********************
*** WELCOME TO JSR ***
**********************

====  ﾀﾝﾏﾂ ﾉ ｼｭﾙｲ  ====
  ｶﾀｶﾅ ﾀﾝﾏﾂ ------> (1)
  ﾆﾎﾝｺﾞ ﾀﾝﾏﾂ -----> (2)
==== 1 ｶ 2 ﾃﾞ ｺﾀｴﾖ ====
= 2

＊＊＊　検索開始　＊＊＊

COMMAND (RETR, DISP, SAVE, AND, OR, END) ? <------ 検索開始の命令
= RETR

ＮＤＣ番号を入力せよ。
=                          <------ この欄で ? を入れるとNDC番号一覧が示される。
                                   (ここの例では書込キーのみでスキップした)

分野（用途）を入力せよ。
=                          <------ この欄で ? を入れると分野名一覧が示される。
                                   (この例では書込キーのみでスキップした)

対象者を入力せよ。
= ?                        <------ 対象者名が分らないので？で問い合せている。

*** 次の表から番号で選べ ***
(1)                  ; 8480 ┐
(2) 高等学校         ; 1004 │
(3) 高等教育         ;   30 │
(4) 小学．中学校     ;  255 │
(5) 小学校１　年     ;   82 ├ 対象者一覧
(6) 小学校２　年     ;   43 │
(7) 小学校３　年     ;   88 │
(8) 小学校４　年     ;  126 │
(9) 小学校５　年     ;  159 ┘

****  対象者を番号で選べ  ****
(該当項目が無ければ書込キーを押せ)
= 3

***  ここまでの検索結果  ***
  映画の件数  ;  30
```

```
キーワードを入力せよ。
= ?

*** キーワードをこの表の中から番号で選べ   ***
(01)616.98    (02)ｶﾝｾﾝｼｮｳ    (03)ｷｴﾝｷﾝ    (04)ｸﾞﾗﾑﾖｳｾｲｷｭｳｷﾝ
(05)ｸﾞﾗﾑｲﾝｾｲｶﾝｷﾝ    (06)ﾋﾊｯｺｳｷﾝ    (07)ﾌﾞﾄﾞｳﾄｳﾋﾊｯｺｳｷﾝ    (08)592
(09)ﾐｽﾞｸﾗｹﾞ    (10)ﾗｲﾌｻｲｸﾙ    (11)ﾄｳﾈｸﾀﾞｲｶﾞｸ    (12)ﾌﾕｳｾｲｶﾂ
(13)ﾌﾁｬｸｾｲｶﾂ    (14)539.12    (15)ｿﾘｭｳｼ    (16)ﾌﾞｯｼﾂ    (17)ｶｶﾞｸ
(18)ﾂｸﾊﾞｹﾝｷｭｳｶﾞｸｴﾝﾄｼ    (19)ｺｳｴﾈﾙｷﾞｰﾌﾞﾂﾘｶﾞｸｹﾝｷｭｳ    (20)ﾖｳｼｼﾝｸﾛﾄﾛﾝ
(21)616-006.6    (22)ｼｮｳﾆｶﾞﾝ    (23)ｿｳｺﾞｳｲﾘｮｳｶﾝﾘ    (24)ﾄｰﾀﾙｹｱｰ
(25)ｼｬｶｲﾉｼｴﾝ    (26)ｷｮｳﾘｮｸ    (27)681.3    (28)ﾊﾟﾀｰﾝｼﾞｮｳﾎｳ    (29)ﾓｼﾞ
(30)ｽﾞｹｲ    (31)ﾌﾞｯﾀｲ    (32)ｵﾝｾｲ    (33)ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ    (34)ﾊﾟﾀｰﾝｼﾞｮｳﾎｳｼｮﾘ
(35)ﾃｶﾞｷﾓｼﾞ    (36)ｲﾝｻﾂﾓｼﾞ    (37)ｼｷｻｲｽﾞｹｲ    (38)576.8.095
(39)ﾆｭｳｻﾝｷﾝ    (40)ﾁｮｳ    (41)ﾁｮｳﾉﾊﾀﾗｷ    (42)ｻｲｷﾝ    (43)621.3
(44)ｴﾚｸﾄﾛﾆｸｽ    (45)ｼﾝﾗｲｾｲｷﾞｼﾞｭﾂ    (46)ｾｯｹｲ    (47)ｾｲｿﾞｳ    (48)ｷｷﾉｱﾝｾﾞﾝ
(49)ｼﾝﾗｲｾｲﾃﾞｰﾀ    (50)621.385.833
*********************
*** キーワードを番号で選べ   ***
= 33
=
                          <------ 入力キーワードがこれ以上無ければ，書込キーを押す。
該当する映画は     2 件である。
キーワード入力を続けるか。  YES(Y) OR NO(N) ?
= N

-----------------
映画の数   ;    2
集合番号   ;    1
-----------------

COMMAND (RETR, DISP, SAVE, AND, OR, END) ?
= DISP 1                  <------ 集合番号1を表示させる。

**********  映画の内容   **********

**  表示の内容はどうしますか   **
  題名のみ   -------> (1)
  全内容     -------> (2)
**  番号1か2を選べ   **
= 2
    [     題          名     ]
  明日の情報処理をめざして＊パターン情報処理のプロジェクト

  (登録番号；2765      コード番合；04458     NDC番号；548
)
-----  ---    キーワード   ----------
681.3    ﾊﾟﾀｰﾝｼﾞｮｳﾎｳ    ﾓｼﾞ    ｽﾞｹｲ    ﾌﾞｯﾀｲ    ｵﾝｾｲ    ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ
ﾃｶﾞｷﾓｼﾞ    ｲﾝｻﾂﾓｼﾞ    ｼｷｻｲｽﾞｹｲ
-----------------------------------
映写時間；27分
製作年   ；1979
分野（用途）；技術記録
分野（用途）；学術．科学
対象者       ；成      人
対象者       ；高等教育
種別         ；映画（16mmカラー）
----    選賞    ----

---    製作者    ---
名前；日映科学映画製作所
住所；太田区池上台3－20－2

電話；03－729－4566
------  企画者  -------
        パターン情報処理システム研究組合
*****************************************
```

音声データベース

SPEECH-DB

音声研究者のためのデータベース

近年，特定話者，孤立単語音声認識装置が商品化され，その有用性が広く注目を集めていますが，不特定者，連続音声の認識を行うには多くの未解決の問題が残されています。SPEECH-DBはそのような音声認識装置の開発の為の基礎研究を支援することを目的として作成された音声のデータベースです。種々の音声データを，単語単位，音韻（フレーム）単位に検索でき，利用者のファイルへ音声データを転送することができます。検索したデータのグラフィック表示及び簡単な分析も行え，会話的利用に便利なように設計されています。

《問い合わせ先》

① 計算機利用申請，利用手引きの請求先

567 茨木市美穂ヶ丘 5－1
大阪大学 大型計算機センター 共同利用掛
電話 (06) 877-5111 内線 2817

② データベースの利用法

567 茨木市美穂ヶ丘 5－1
大阪大学 大型計算機センター 研究開発部 または システム管理掛
電話 (06) 877-5111 内線 2836 または 2823

③ データベースの内容

567 茨木市美穂ヶ丘 8－1
大阪大学 産業科学研究所 電子機器部門
溝口 理一郎
電話 (06) 877-5111 内線 3566

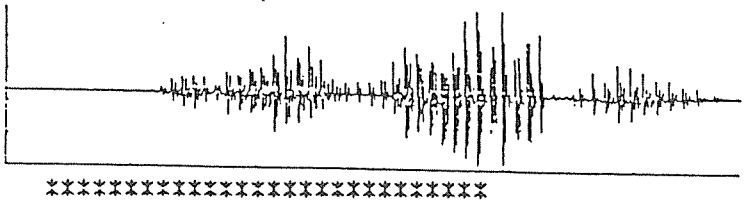
利 用 例

大阪大学 大型計算機センターの計算機に接続の後，次の要領でSPEECH-DBを利用できます。

```
SYSTEM ?SPEECH-DB


WELCOME TO SPEECH-DB
COMMAND ?
=SEARCH                    (男性が発声した有声破裂音のCV音節中に含まれる)
TYPE IN SUBCOMMAND         (音韻 / I /が欲しい)
=COND PHONEME = I ; SYLLABLE = VOICED-PLOSIVE + I
                    AND SUBJECT-SEX = MALE
             19 RECORDS FOUND.
TYPE IN SUBCOMMAND
=LIST IF PH SY DF DT
HOW MANY RECORDS TO LIST?
=10
-----------------------------------------------------
ID-FRAME                        271
PHONEME          I
DATA-FROM                     13501 (生データファィルにおけるデータ)
DATA-TO                       13700 (の始点及び終点を表す)
SYLLABLE         GI
-----------------------------------------------------
                    :
CONTINUE TO LIST(YE OR NO)?
=NO
TYPE IN SUBCOMMAND (有声破裂音と母音 / A /からなる音節を含む単語が欲しい)
=COND WD ; SY = VOICED-PLOSIVE + A
              6 RECORDS FOUND.
TYPE IN SUBCOMMAND
=LIST WD WDF WDT
HOW MANY RECORDS TO LIST?
=↵
-----------------------------------------------------
WORD             BAKUON
WDATA-FROM                      51
WDATA-TO                      6700
-----------------------------------------------------
WORD             GA
WDATA-FROM                    6551
WDATA-TO                      9100
-----------------------------------------------------
WORD             HIROGARU
WDATA-FROM                   30601
WDATA-TO                     36450
-----------------------------------------------------
                    :
```

```
TYPE IN SUBCOMMAND
=MOVE   (検索したデータを利用者のファイルに転送する)
RAW DATA SIGNAL CHECK (YE OR NO)?
=YE
TYPE IN SUBCOMMAND
=SIGNAL
DISPLAY FORMAT DECISION!!!
                ⋮
START POINT,END POINT ?
=30601,36450
                ⋮
```



```
*************************
*  DISP NO. I        1   *
* DISP START POINT 30601 *
* DISP END POINT   36450 *
* MAX.MIN V.I   1300.-1159.*
*************************
NEXT,FORM,STOP,HELP
=STOP
***SIGNAL DISPLAY END***
TYPE IN SUBCOMMAND
=END
DISPLAY COMMAND END!!

MOVE ALL DATA(YE OR NO)?
=YE
CHANGE FROM,TO(YE OR NO)?
=NO
OUTPUT USER FILE NAME
ASSIGNED USR ID/CATALOG/----/FILE ?
=SPEECH-DB/DEMO
ASSIGNED FILE =SPEECH-DB/DEMO
FILE OK. (YE OR NO) ?
=YE


**FILE FORMAT
  1) PACKED RANDOM FILE
  2) NORMAL RANDOM FILE
SELECT FILE FORMAT (1 OR 2)?
=1
TYPE IN SUBCOMMAND
=END

COMMAND ?
=↲

GOOD-BYE

SYSTEM ?
```

やる気データベース

YARUKI

学生のやる気を図形表示

やる気データベースシステムから出力されるやる気のグラフには，やる気の平均値，標準偏差，最大値，最小値がプロットされます。これらは，学生に自己の勉学に対するやる気の時間的変化を調査用紙にカーブとして描いてもらうIGF法（Inner Graphic Formula Method）を用いて調査したもので，あらかじめ上記の処理をしておいたデータ，及び学校名，学部名，調査日等をつけ加えて出力します。利用者はやる気データベースを検索し，出力したいやる気のグラフを学校別に選択することにより，その学校のやる気のグラフを出力することができます。なお，プライバシー保護を考え，学校名は英文字2文字で表現し，調査協力者の個人データは一切出力しないようにしてあります。

〈問い合わせ先〉

① 計算機利用申請，利用手引きの請求先

567 茨木市美穂ヶ丘5－1
大阪大学 大型計算機センター 共同利用掛
電話 (06) 877-5111 内線 2817

② データベースの利用法

567 茨木市美穂ヶ丘5－1
大阪大学 大型計算機センター 研究開発部 または システム管理掛
電話 (06) 877-5111 内線 2836 または 2823

③ データベースの内容

572 寝屋川市初町18－8
大阪電気通信大学 工学部 経営工学科
石桁 正士
電話 (0720) 24-1131 内線 364

```
SYSTEM ?YARUKI
```
← システムを呼びだす

```
     *************************
     *** WELCOME TO YARUKI ***
     *************************
     DATE=11/15/85
     TIME=10:37:59
```
← 日付と時間を表示する

```
ANATA NO TANMASTU WA ?
=======================================================
 (1)----->132KARAMU MADE SYUTSURYOKU KANOUNA TANMATSU
 (2)-----> 72KARAMU MADE SYUTSURYOKU KANOUNA TANMATSU
=======================================================
 BANGOU DE ERABE
=1
```
← 端末の指定

← 132 カラムまで出力可能な端末を指定した

```
 DEMOGRAPH O MIMASUKA ?
===============
 (1)--->MIRU
 (2)--->MINAI
===============
 BANGOUDE ERABE
=2
```
← デモグラフを見るか見ないかを選ぶ

← デモグラフは見ない

```
 LEVEL1
DONO DATA O  MIMASUKA ?
========================
 (D)----->DAIGAKU
 (T)----->TANDAI
 (K)----->KOUSEN
========================
 KIGOU DE ERABE
=D
```
← 大学・短期大学・高等専門学校の中のどのデータを見るかを選ぶ

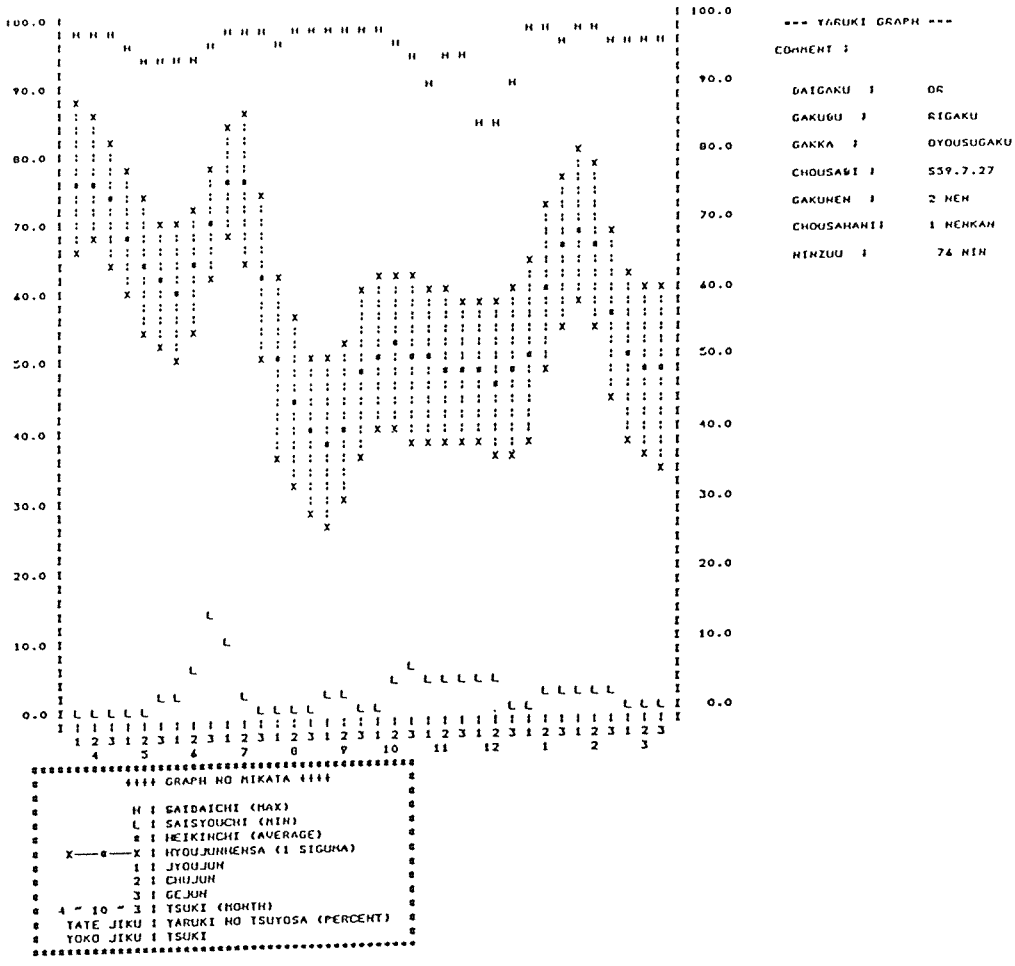
← “大学”を選んだ

```
 LEVEL2
 DONO DATA O MIMASUKA ?
==================================
 (A)--->SOUGOU DAIGAKU
 (B)--->RIKOUKAKEI TANKA DAIGAKU
 (C)--->BUNKAKEI TANKA DAIGAKU
 (D)--->IKA DAIGAKU
 (E)--->JYOSHI DAIGAKU
==================================
 KIGOU DE ERABE
=B
```
← 大学の中の総合大学・理工科系単科大学・文科系単科大学・医科大学・女子大学の中のどのデータを見るかを選ぶ

← ”理工科系単科大学”を選んだ

```
 LEVEL3
 DONO DATA O MIMASUKA?
=================================================================
 DT-NO. GAKKOU  GAKUBU    GAKKA  GAKUNEN  NINZUU  CHOUSABI  KIKAN
=================================================================
( 1)--->  OD    KOUGAKU   KEIEI     2       127    S58.1.17     1
( 2)--->  OD    KOUGAKU   KEIEI     3        95    S58.1.19     1
( 3)--->  OD    TANDAI    DENKI     2        79    S58.4.9      1
( 4)--->  OD    KOUGAKU   KEIEI     2       117    S57.1.18     1
( 5)--->  OR    RIGAKU    OYOUSUG   2        76    S59.7.27     1
( 6)--->  OD    KOUGAKU   KEIEI     4        93    S59.9.8      4
( 7)--->  FD    KOUGAKU   KEIEI     4        15    S59.7.6      4
( 8)--->  OK    KOUGAKU   KEIEI     4        21    S59.3.1      4
( 9)--->  OR    RIGAKU    OYOUSUG   4        46    S59.1.25     4
(10)--->  OD    KOUGAKU   KEIEI     4        97    S58.9.10     4
(11)--->  OD    KOUGAKU   KEIEI     4        16    S59.9.8      5
(12)--->  OR    RIGAKU    OYOUSUG   4        17    S59.1.25     5
=================================================================
 BANGOU DE ERABE
=5
```
← 格納されているデータの表示

← 5 を選んだ




```
 TSUZUKE NASUKA?
==========================
(1)--->LEVEL1 NI MODORU
(2)--->LEVEL2 NI MODORU
(3)--->LEVEL3 NI MODORU
(4)--->ONAJI GRAPH O KAKU
(5)--->YAMERU
==========================
 BANGOU DE ERABE
=5

*** GOOD-BYE ***

SYSTEM ?
```

LEVEL 1 ～ 3 のいずれに戻るか，同じグラフをもう一度出力するか，やめるかを選択する。

5 を選んだ（やる気データベースシステムの終了）

SYSTEM? レベルに戻る

生物分野文献データベース

BIOSIS

バイオ・サイエンスの文献検索はおまかせ

- ○ Bio Science Information Serviceより提供される文献ファイル
- ○ 生命科学の全領域にわたる文献
- ○ BA：9000種の学術雑誌の原著論文，学位論文　20万件/年
- ○ BA/RRM単行本，学術レポート，会議資料と抄録，文献レビュー，文献リスト，単報　16万件/年

〈問い合わせ先〉

① 計算機利用申請，利用手引きの請求先

567　茨木市美穂ヶ丘5－1
大阪大学 大型計算機センター 共同利用掛
電話（06）877-5111 内線 2817

② データベースの利用法

567　茨木市美穂ヶ丘5－1
大阪大学 大型計算機センター 研究開発部　または　システム管理掛
電話（06）877-5111 内線 2836　または　2823

③ データベースの内容

567　茨木市美穂ヶ丘5－1
大阪大学 大型計算機センター 研究開発部
多喜　正城
電話（06）877-5111　内線 2837

○下線は端末からの入力を示す。

```
SYSTEM?BSAUTO                  ------  BIOSISデーターベース・システムの呼びだし
#####################
#  WELCOM TO BIOSIS  #
#####################
##############################################
# CAUTION !! FOR AN INFRINGENT OF COPYRIGHT !  #
# DON'T PRINT OUT TO F.D.D. OR DISK-FILE ETC.! #
##############################################
WAIT A MINUTE
CHOOSE THE RECORDSET NAMES WITH THE NUMBERS  (RETURN-KEY TO EXIT).
 NO RECORDSET NAME            COMMENT
#01 BA85                      BA    (1985. VOL79 & VOL80)          : 220008REC
#02 RRM85                     BA/RRM(1985. VOL28 & VOL29)          : 220004REC
#03 BA86                      BA    (1986. VOL81#1-3)              :  29376REC
#04 RRM86                     BA/RRM(1986. VOL30#1-2)              :  21084REC
#05 BACURR                    BA    (1986. VOL81#3)                :   9792REC
#06 RRMCURR                   BA/RRM(1986. VOL30#2)                :  10542REC
RECORDSET NAME? 3             ------  レコードセットの選択
RECORDSET NAME? 4
RECORDSET NAME? ←             ------  Returnキー入力によりレコードセットの選択終了
STARTING OF RETRIEVE PROCEDURE.
B(ROWSE) OR S(EARCH)? <B/S>
B                             ------  BROWSE(通覧)の指定
TYPE OF BROWSE? KEYWORD       ------  KEYWORDによる通覧
ITEM NAME?←                   ------  Returnキー入力により，すべてのアイテムの通覧を行う。
ENTER THE KEYWORD WHICH YOU BROWSE.          (アイテムがわからない時に用いる)
NEVER SKIP NEXT STEP !!
STARTING KEYWORD-VALUE? TANAKA  ----  通覧すべきキーワードの値を入力する。
 NO. RECORD  KEYWORD (ITEM=SOU2)  ----アイテム名SOU2(=SOURCE    : JOURNALやBOOK等)
#001     17  TAIPEI                    以下，アイテム名を示しておく。
#002      3  TAI                         LANG (=LANGUAGE     : 原文の言語     )
                                         AUTH (=AUTHOR       : 原著者名       )
                                         TITL (=TITLE        : 標題名         )
                                         ADWD(=ADDWORD       : 附加語         )
                                         ORGA (=ORGANIZATION : 著者の所属機関)
#079      1  TANDOJAM
TYPE OF BROWSE?←              ------ 通覧の打ち切り(Returnキー)
B(ROWSE) OR S(EARCH) OR D(ISPLAY) OR E(ND) OR N(EXT)?  <B/S/D/E/N>?
S                             ------ SEARCH(検索)の開始
INQUIRY? AUTH_=_TANAKA$       ------ 著者名がタカタカナで始まる者($は前方一致を示す)
 #01     161  RECORDS         ------ 出力結果161件あり
INQUIRY? ORGA_=_OSAKA$        ------ 所属がオオサカ
 #02     306  RECORDS
INQUIRY? ORGA_=_UNIV$
 #03    4300  RECORDS
INQUIRY? #2_AND_#3            ------ 検索結果#2と#3を同時に満たすもの
 #04      31  RECORDS
INQUIRY? #1_AND_#4
 #05       1  RECORDS
INQUIRY?←                     ------ 検索の終る(Returnキー)

B(ROWSE) OR D(ISPLAY) OR E(ND) OR N(EXT)?  <B/D/E/N>
D                             ------ DISPLAY(検索結果の表示)
```

```
DISPLAY -- FORMAT IN B(IOSIS) OR E(DITED FORM) OR N(OT)?  <B/E/N>
B                                ------ BIOSIS提供形式で表示する。
INQUIRY NUMBER? 5                ------ 何番目の検索結果を表示するのか？　ここでは＃5
DISPLAY STARTING POINT?←         ------ 表示開始は何件目から何件表示するのか？
DISPLAY COUNT?←                          Returnキーは，始めから全部を表示する。
  #05        1 RECORDS           ------   以下，BIOSISでの出力結果
        1/1
BN=30009363    CD=KDYIA    VL=28            IS=2            YR= 1985
PG=362                    S1=12TH CONGRESS OF THE EUROPEAN DIALYSIS A
S2=12TH CONGRESS OF THE EUROPEAN DIALYSIS AND TRANSPLANT ASSOCIATION-EUROPEAN
   RENAL ASSOCIATION, BRUSSELS, BELGIUM, JUNE 25-29, 1985. KIDNEY INT
LG=EN
AU=YAMAGAMI S/NIWA M/KISHIMOTO T/UMEDA M/TANAKA S/IWANAGA S/
TI=ANALYSIS OF A LIMULUS POSITIVE SUBSTANCE IN THE CUPROPHANE MEMBRANE
AW=ABSTRACT RABBIT CUPROPHANE CUPROAMMONIUM POLYMETHYLMETHACRYLATE ENDOTOXIN P
   YROGEN TEST
OG=OSAKA CITY UNIVERSITY MED. SCHOOL.
  CC=00520     10060     10066     10068     10508-    15001-    22501*
     23007-    31000     36002-    64060
  BC=86040

B(ROWSE) OR S(EARCH) OR E(ND) OR N(EXT)? <B/S/E/N>
N                                ------ DISPLAYの次のプロセスに進む（NEXT コマンド）
DISPLAY -- FORMAT IN B(IOSIS) OR E(DITED FORM) OR N(OT)?  <B/E/N>
E                                ------ センター提供のプログラムにより出力結果を見易く編集して出力
                                        する。
CHOOSE ONE FROM THE ABOVE INQUIRY NUMBER WHICH APPEARED
 IN THE HEADING OF THE FORM '#NN      11  RECORDS'  AT THE ANSWER OF 'INQUIRY? '
INQUIRY NUMBER? 5                ------ 検索結果のシステムからの返答番号　＃5
                                    ==>  注；このプログラムでは，その検索番目の表示にあった件数を
                                             出力する。例えば，＃4では，31件分が出力される。
WAITE A MINUTE
                                 ------ 以下，EDITでの出力結果
PRINT NO.  1
BIOSIS_NO.30009363    CODE=KDYIA    LANGUAGE / EN
AUTH : YAMAGAMI S/NIWA M/KISHIMOTO T/UMEDA M/TANAKA S/IWANAGA S/
ORGA : OSAKA CITY UNIVERSITY MED. SCHOOL.
TITL : ANALYSIS OF A LIMULUS POSITIVE SUBSTANCE IN THE CUPROPHANE M
       EMBRANE
PUBL : 12TH CONGRESS OF THE EUROPEAN DIALYSIS AND TRANSPLANT ASSOCI
       ATION-EUROPEAN RENAL ASSOCIATION, BRUSSELS, BELGIUM, JUNE 25
       -29, 1985. KIDNEY INT
        VOL.28 ,NO.2   PP.362 ,1985
ADWD : ABSTRACT RABBIT CUPROPHANE CUPROAMMONIUM POLYMETHYLMETHACRYL
       ATE ENDOTOXIN PYROGEN TEST
DO YOU WANT TO PRINT OUT CC-NUMBER AND BC-NUMBER ?
Y(ES) OR N(O)? <Y/N>             ------ CC, BC が要るか？
N
DISPLAY -- FORMAT IN B(IOSIS) OR E(DITED FORM) OR N(OT)?  <B/E/N>
N                                ------ DISPLAYの打ち切り
B(ROWSE) OR S(EARCH) OR D(ISPLAY) OR E(ND)? <B/S/D/E>
E                                ------ 現在のレコードセット（＃03，＃04）を終わる
CONTINUE UNDER S(AME RECORDSET) OR A(NOTHER) OR F(INISH)? <S/A/F>
E                                ------ BSAUTOを終わる。
END OF BIOSIS                    ------ BIOSISの終了メッセージ
```